

2. 調査研究課題別の概要（21～30期）

〔課題名〕 酪農経営の安定向上に関する調査研究（第Ⅵ期委託実験農場）

〔報告書No.〕 69

〔研究年度〕 平成5～7年度

〔研究者〕 辻 和彦，藤田 秀保，中村 英雄，貴船 和多男，菊池 守也

1. 目 的

本調査研究は昭和53年以来継続して行われており，委託実験農場を選定し，3カ年をⅠ期として，その経営動態を追いながら酪農経営改善のための資料を得るとともに，それら成果の地域への波及を目的としている。今期は酪農生産物の需給動向と酪農経営の改善の方向に対応して委託実験農場を選定し，確定技術を導入してその成果を取りまとめ，地域の酪農経営に関する技術資料を得るとともに，地域への波及効果を期待する。このために，営農に関する記帳を行い，経営診断を実施し，これに基づき経営改善を図る。また，農場経営者の要望によっては新技術の開発についても実験を行い，酪農生産物の安定供給と酪農経営の合理化に資することを目的とする。

2. 方 法

調査対象となる委託実験農場として，北海道天塩郡幌延町，岩手県胆沢郡金ヶ崎町，茨城県那珂郡那珂町，愛知県海部郡立田村，兵庫県多紀郡今田町，福岡県筑紫野市の計6カ所を選定し，各地域毎に年間2回の地方運営委員会を開催し，毎年経営診断を実施した。

委託実験制度による取り組み内容は以下の通りである。

- 1) 委託実験農場主は，個人別の作業日誌，乳牛個体別飼養状況，生産乳量，月別出納内訳表について記録した。これに基づき年度毎に経営成果を取りまとめ，分析した。
- 2) この経営診断結果に基づき，地方運営委員会において経営上の問題点をチェックし，問題点の解決方策と経営改善の方途を検討し，次年度の経営改善計画を立案し，実行した。
- 3) その他の取り組みとして，委託実験農場の成果の地域への普及を目的として，数カ所の地域で講習会を実施した。

なお，委託実験農場の運営組織として各関係市町村，家畜保健衛生所，農業改良普及センター，農業協同組合または酪農専門農協，農業共済組合，乳業会社などの関係機関団体により地方運営委員会を設置した。地方運営委員会は委託実験農場の実態調査，営農改善計画の樹立，営農指導，営農実績の取りまとめ，その他必要な対策について検討し，当研究所との協力の上，当該農場経営の安定向上の推進にあたるものとした。

3. 成 果

3カ年に亘る委託実験農場の期間中，平成6年，7年と連続した全国的な猛暑という異

常気象の影響で、3戸の委託実験農場では乳牛疾病の多発などによって、生乳生産量は低下し、1頭当たり乳量など技術的にもダウンした。また、バブル経済崩壊後の景気低迷、消費財価格の動きに連動したプール乳価の下げ基調等の経済環境変化もあって、実験農場の経営成果は全国的な傾向と同様必ずしも芳しい向上をみなかった。

しかし、運営委員を通じての諸方策の検討および指導によって、飼料給与や暑熱対策などの技術改善や廃用牛の有利販売努力を喚起させ、所得率や生産コストが改善された農場もあった。各委託実験農場の取り組みは以下の通りである。

1) 北海道天塩郡幌延町

フリーストール飼養体系移行に伴う飼養管理上の問題点の解決、自給飼料費節減のための放牧方式導入の効果確認など、土地利用型酪農の優位性を発揮するための基本技術の改善に取り組んだ。

2) 岩手県胆沢郡金ヶ崎町

既に高水準の収益性を実現しているが、過重労働を解決して将来への経営展望を開くため、制度資金、補助金を有効に活用し、フリーストール・ミルクングパーラ方式への転換を図ろうとして、そのために必要なノウハウについてアドバイスを委託実験農場から求められた。しかし、予定していたフリーストール化は制度資金の対応や総合的な経営改善策を検討した結果延期となった。

3) 茨城県那珂郡那珂町

昭和57年にフリーストールを導入しているが、農業所得率が低く、かつ借入負債は増加傾向にある。このため、飼養管理技術の向上を目指して給与飼料成分の改善、不受胎牛と潜在的乳房炎牛の解消、ボディコンディションに留意した飼料給与技術の改善を行った。

4) 愛知県海部郡立田村

典型的な施設型酪農で、後継牛も購入に依存している。農業所得率が低く、労働多投型で労働生産性も低い。このため、飼料給与技術の改善と労働生産性を高めるために必要な牛舎施設の整備や暑熱対策に取り組んだ。

5) 兵庫県多紀郡今田町

農家所得1,900万円以上、所得率36%以上と経営数値は高水準にあるが、成牛管理労働時間の軽減、飼料給与体系の改善、ふん尿の堆肥化技術などに取り組んだ。ふん尿の堆肥化については処理施設への投資の検討を行った。

6) 福岡県筑紫野市

都市化の進む中で、飼料コスト低減による収益性向上の可能性を探った。工場副産物の利用やロールバールサイレージ調製などに取り組んだ。

4. キー・ワード

フリーストール、加重労働、飼料給与体系、暑熱対策、ふん尿処理、飼料コスト